

○調査結果の概要

1. 貿易企業の概要

・貿易実績のある企業 228 社

2020 年(暦年)における輸出企業は 171 社(前年 179 社)、輸入企業は 117 社(同 106 社)、これらのうちで輸出入ともに行っている企業は 60 社(同 61 社)で貿易企業は 228 社(同 224 社)となった。

所在地別では、松江市が 64 社と最も多く、続いて出雲市 56 社、浜田市 22 社の順となった。

2. 貿易実績

・島根県の 2020 年貿易額は 3,601 億円

県内企業の 2020 年(暦年)の貿易額(輸出入額)は 3,601 億円(前年 3,735 億円)であり、前年比 3.6%の減少となった。

輸出額 2,777 億円(前年 2,783 億円)に対し、輸入額は 823 億円(前年 952 億円)となっており、1,954 億円の輸出超過(前年は 1,831 億円の輸出超過)となった。

(1) 輸出の実績

・輸出額は 2,777 億円 輸出全体の 77.4%が機械、電気機器及び同製品並びに部分品

2020 年(暦年)の県内企業の輸出額は 2,777 億円(前年 2,783 億円)であり、対前年比で 0.2%の減少となった。

輸出品目別では、「機械、電気機器及び同製品並びに部分品」が 2,148 億円(構成比 77.4%)と最も多く、次いで「卑金属及び同製品」が 444 億円(同 16.0%)となっており、両品目で輸出全体の 93.4%を占めた。地域別では、アジアが 542 億円(構成比 19.5%)、ヨーロッパが 463 億円(同 16.7%)、北アメリカが 119 億円(同 4.3%)となっており、この三地域で全体の 40.5%を占めている。国別輸出額でみるとドイツが 352 億円(構成比 12.7%)、中国が 157 億円(同 5.6%)、韓国が 154 億円(同 5.6%)、アメリカ合衆国が 102 億円(同 3.7%)となっている。

輸出形態では、直接輸出が 429 億円(構成比 15.4%)、間接輸出が 2,348 億円(同 84.6%)となっており間接輸出の割合が高くなっている。

輸出の積出港をみると、最も多かったのは関西地域で全体の 20.0%、次いで関東地域が 12.2%と続いている。なお山陰地方の港の積出は、境港が 2.4%、浜田港が 0.6%となっている。

(2) 輸入の実績

・輸入額は823億円 機械、電気機器及び同製品並びに部分品と鉱物性生産品の両品目で輸入全体の57.0%

2020年(暦年)の県内企業の輸入額は823億円(前年952億円)であり、対前年比で13.5%の減少となった。

輸入を品目別にみると、「機械、電気機器及び同製品並びに部分品」が247億円(構成比30.0%)と最も多く、次いで「鉱物性生産品」が222億円(同27.0%)、「卑金属及び同製品」が103億円(同12.5%)となっている。地域別では、アジアが533億円(構成比64.7%)と最も多く、オセアニアが100億円(同12.2%)、北アメリカが79億円(同9.6%)と続いている。国別輸入額で見ると、中国が329億円(構成比39.9%)、オーストラリアが96億円(同11.7%)、インドネシアが90億円(同10.9%)、アメリカ合衆国が50億円(同6.0%)となっている。

輸入形態は、直接輸入が334億円(同40.6%)、間接輸入が489億円(同59.4%)となっており、間接輸入の割合が高かった。

輸入を荷揚港別にみると、最も多かったのは関西地域で全体の42.1%を占めた。なお、山陰地方の港の荷揚げは、三隅港24.6%、境港8.0%、浜田港6.6%となっている。

3. 海外直接投資及び外国企業との提携

・投資先は中国とタイが12件、提携先は中国が最多の18件

海外への投資案件は全体で26社36件となっており、投資先を国別にみると、中国とタイがともに12件となっており、地域別で見るとアジア全体で86.1%を占めている。

形態別では、独資17件、合併9件、駐在員事務所7件、支店2件、その他が1件となっている。

県内企業の外国企業との提携は全体で26社63件あり、提携先を国別にみると、中国が18件(構成比28.6%)と最も多く、次いで韓国が6件となっている。地域別にみると、アジアが51件で81.0%を占め、ヨーロッパが6件で9.5%、北アメリカが5件で7.9%となっている。

形態別では、販売代理店契約38件、委託加工貿易13件、技術供与7件、技術導入1件となっている。